

(公印省略)

令和4年8月3日

会員各位

一般社団法人 福岡県私設病院協会  
会長 江頭 啓介  
一般社団法人 全日病福岡  
会長 江頭 啓介  
一般社団法人 福岡県医療法人協会  
会長 佐田 正之  
一般社団法人 福岡県慢性期医療協会  
会長 中尾 一久

### 新型コロナウイルス感染症拡大に備えたさらなる病床確保のお願い

新型コロナウイルス感染の第7波を迎え、福岡県下では毎日1万人以上の新規陽性者がでております。それに伴い、入院患者数の急増で、病床利用率も70%を超えております。ただし、現在の新規入院患者は軽症者の方が多いことが特徴です。

このような状況下において、民間病院団体に対し福岡県からさらなるコロナ病棟確保の依頼がなされました（令和4年7月29日付4疾病第5460号福岡県保健医療介護部長通知）。

この依頼につきましては、当4病院団体としては民間病院の立場から積極的に協力することとしたいと考えます。又、新たにコロナ病床を設置される病院に対しては、新規入院患者は軽症者の方が多いことを踏まえ、病棟全体ではなく、病室単位でのゾーニングなどでも十分に対応でき、コロナ感染症の患者の入院受入に際して支援金の活用も可能です。コロナ病床設置を是非ともお願いします。

会員病院におかれましては、コロナ病床、コロナ疑い病床、コロナ後後方支援病床等、既に取り組んでおられることと拝察いたします。またそれぞれに諸般の事情があると存じますが、民間病院として一致団結して新型コロナウイルス感染症に対応すべく、さらなるご理解とご協力を是非とも賜りますようお願い申し上げます。

注) 令和4年7月29日付4疾病第5460号福岡県保健医療介護部長通知

「新型コロナウイルス感染症拡大に備えたコロナ病床の確保について」は、福岡県私設病院協会のホームページに「効果的かつ負担の少ない医療現場における感染対策について」「新型コロナウイルス感染症患者等の入院を受ける医療機関が利用できる補助」「令和4年度新型コロナウイルス感染症患者等入院受入医療機関緊急支援事業補助金」とともに掲載しておりますのでご参照ください。